

藤沢市政再起動を実現する会 国松誠

② 交通不便・安全の課題解決を探ろう

意見広告

コミュニティバス・ライドシェア選択肢見つめる

高齢化の進展に伴い、とで不便になることを気
運転免許を返納する方が にされる方も少なくあり
増えています。 ません。

そこで気になるのが、 過去、痛ましい事故が
地域の交通手段です。免 あったことを教訓に自主
許返納は、ご自身の運転 返納を進めるためにも、

に不安を覚えた方が多い 地域の「足」を確保して
と聞きますが、一方で日 いくことは両輪として考
常生活の「足」を失うこ えなければなりません。



■経歴 1961年生まれ
神奈川県立藤沢西高卒
明治大学法学部卒
衆議院議員 藤井裕久秘書
藤沢市議会議員
藤沢市議会議員、全国市議会議長会会長
神奈川県議会議員4期務める

☎0466-31-3555

✉ kunimatsu-makoto@outlook.jp
URL http://kunimatsu-makoto.com

人を乗せるいわゆる相乗 あります。現在の日本で
りという考え方です。 は「白タク」と呼ばれる

話題となる背景には、 違法行為にあたるため、
交通不便の解消に加え、 規制緩和が必要で、安全
タクシー業界で、コロナ を裏打ちする仕組みづく

禍を境に運転手が不足、 り、業界への理解など実
インバウンド復活で需要 現には相応の時間が必要
が増え、不足度合いがよ だと考えられます。

り進むのではという見方 交通安全とまちの利便
があり、最近になって菅 の確立は、変化する需要

前総理や河野デジタル大 に合わせて速やかに応じ
臣が発言し、神奈川県で ていく必要があると考え
黒岩知事も取り組んでみ ます。喫緊に対応が必要

たいと言及しています。 ならば行政支援も視野に

私自身もライドシェア 入れたコミュニティバス
をタクシー業界のみなさ の導入を、そして継続し
んと共同して実現させる て共助的な意味あいもあ
方法を模索する、そんな るライドシェアの実現に

時期にきていると考えて 向けた議論を深めてい
います。 く。我が藤沢市では何が

ただし、このライド できるのか、ともに考え
シェアにも大きな課題が ていきたいと思います。

規模のバス路線です。た
だし、道路事情や採算面
など、導入には難しい問
題が山積しています。
ライドシェアは、あま
り馴染みがないかもしれ
ませんが、一般のドライ
バーが有料で目的地まで